

平成27年度 事業計画

北海道・東北未来戦略会議

I. 「第10回 ほくとうトップセミナー」の開催

北海道・東北地域における官民のリーダーが一堂に会し、地域が抱える諸課題について活発な意見交換を行うことにより、お互いの共通認識を醸成するとともに、当地域における今後の発展戦略を企画立案し、それを推進する。

継続

1. 開催場所

岩手県（北海道東北地方知事会議の開催地）

2. 開催時期

開催場所（岩手県）及び北海道東北地方知事会と調整を図る。

3. 参加者

北海道・東北未来戦略会議の構成団体（14団体）の長とする。

4. プログラム

（1）構成

- ・「基調講演」「意見交換」で構成。

（2）「基調講演」

- ・有識者を招聘し、今後の地域戦略の参考に資する。

（3）「意見交換」

- ・基調講演の内容等を踏まえ、官民のトップが意見交換を行う。

（4）プログラムおよびテーマの詳細

- ・会長団体、開催県及び事務局が総会以降に詳細を詰め、幹事会（7月頃開催）の了承を得る。

II. 人口減少社会と地方創生を見据えた北海道・東北地域のあり方の検討

北海道・東北地域における人口減少の状況及びわが国の地方創生の動きなどを踏まえ、当地域の官民が一体となって取り組むべき内容等について、情報共有と理解醸成を図るとともに、今後の当地域のあり方について検討していく。

継続・新規

1. 「官民連携に資する勉強会（地方創生研究会：仮称）」の開催

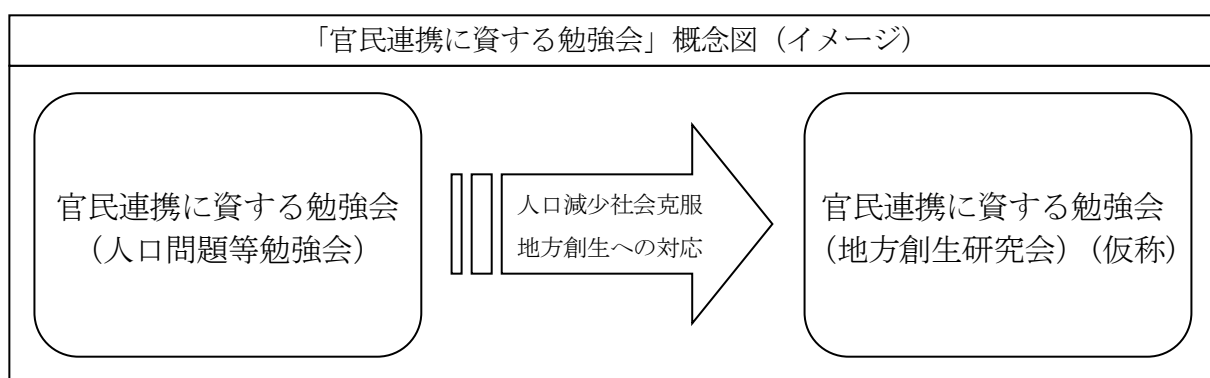
北海道・東北地域を取り巻く現状及び環境変化を踏まえながら、当地域における官民連携に資する勉強会を開催し、情報の共有と理解の醸成に努める。

具体的には、平成26年度から設置している「官民連携に資する勉強会（人口問題等勉強会）」での議論を引き継ぐ形で、「官民連携に資する勉強会（地方創生研究会）」（仮称）を組織し、構成団体間における相互理解と議論を深めていく。

(1) 「官民連携に資する勉強会（地方創生研究会：仮称）」の開催

- ・北海道・東北地域の人口減少の状況及び、政府の「まち・ひと・しごと創生本部」の動きや地方創生に向けた動きなどを踏まえながら、北海道・東北地域の官民連携の方向性や具体的な施策のあり方などについて、理解と議論を深める。
- ・議論の成果としては、各構成団体（主に行政）が取りまとめる「地方版総合戦略」のもと、各団体が実施する事業や広域連携で実施することが望ましい個別事業（施策）の参考にしてもらう。
- ・開催は年4回程度とし、有識者からの講演や現地調査（視察）等も交えながら行う。

※研究会の実施内容及び検討内容等の詳細については、座長団体及び会長団体と事務局にて調整を図りながら実施するものとする。



Ⅲ. 海外との経済交流拡大に向けた広域連携方策の推進

海外との経済交流拡大に向けた広域連携方策を具体的に推進するため、香港協力ショップ等と連携した地域産品の販売増加に向けた情報提供等を行う。

継続

1. 地域産品の販路拡大等に向けた関係先との連携

北海道・東北の認知度向上、地域産品の販売促進や旅行客の誘致促進を目的とした事業を関係先と連携しながら進める。

(1) 香港協力ショップの利活用

- ・香港で展開している「Japan Super」（香港協力ショップ）の利活用を図るべく、引き続き地域産品の情報提供及び現地市場に関する情報収集等を行う。

Ⅳ. 総会、幹事会の開催

会議名	開催回数	開催場所	会議概要
総会	年1回程度	仙台市等	事業報告・決算の承認、事業計画・予算の決定並びにその他必要な事項について審議。 ・事業報告及び決算の承認 ・事業計画及び予算の決定 ・その他
幹事会	年4回程度	仙台市等	総会で決議した事項の執行及びその他会務の執行に関する事項について協議。 ・事業実施状況に関する協議 ・事業計画及び予算等の協議 ・その他

※事業の進捗に応じ、臨時に会議を開催する場合がある。

以上